

ハーエンキルヒエン＝ジーガーツブルン

2018年7月30日

TRACE32 : Time Partition Testing の領域を拡大

組込みシステム向けのデバッガとロジックアナライザを専門とする、マイクロプロセッサ開発ツールのドイツのトップメーカー、ローターバッハ社は、TRACE32 と Piketec 社の Time Partition Testing ツールの統合を発表しました。

この統合は TPT 12 でサポートされており、Piketec 社の FUSION プラットフォーム用の新しいノードを採用しています。これにより、ユーザはプロセッサインザループ (PIL) テストで TPT と TRACE32 をつなげられます。このようなテストは、各種安全規格に準拠しているか、ソフトウェアの照合検証をする企業にとって非常に有益なツールであり、TRACE32 との統合により、TPT はサポートされている幅広い種類のマイクロプロセッサにアクセスすることができます。

ローターバッハ社のセールスマネージャを務める Norbert Weiss は次のように述べています。「プロセッサインザループテストは、実世界のコードの実行をモデルと比較する優れた方法です。生成されたコードが、基礎となるオペレーティングシステムおよびハードウェアと、どのように相互作用するかを検証し、最終的な選択を行う前に異なるプロセッサアーキテクチャでアルゴリズムの動作を比較する機能を開発者に提供します。この統合は、進む複雑化にも関わらず、組込みシステムの性能、安全性、信頼性を高めるマイルストーンになるでしょう」。

LAUTERBACH, TRACE32 μ Trace and other LAUTERBACH products and services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of LAUTERBACH. All other product and service names mentioned are the trademarks of their respective companies.